



二十歳のあなたへ

記念すべき別府市制100周年の年となりました。先人に感謝し、より素敵な別府の未来を約束する年にしたいですね。

また、元日から能登半島地震が発生しました。被災された皆様にお見舞い申し上げ、亡くなられた皆様に心から哀悼の誠を捧げます。

別府市では1月4日から義援金箱を市内12か所に設置し、支援物資を満載したトラックが石川県に向けて6日に出発し8日に到着しました。さらに被災地へのふるさと納税の代理受納もしております。ぜひ皆様のご支援をよろしくお願いたします。

さて、今年も「二十歳のつどい」を開催しました。白状しますが、私は自分の成人式には寝坊して行けませんでしたが、ですが翌年先輩代表の挨拶で出席しました(笑)。自ら



別府市長
長野 恭紘

と比較して、しっかりした今の二十歳の若者達がとても頼もしく感じた次第です。

実は、長男も今年二十歳を迎えました。感慨深く、祝辞の時に思わず込み上げてしまいましたが無事に完走しました(笑)。

個人的な事ですが、私が市長選挙で2回目に落選した時、長男はもうその意味がわかる年齢でした。学校でその事でいじめられたりしないか心配しましたが、逆に友人達はその事には触れず、あえて普通通りに接してくれたとの事でした。本当に良い友に恵まれた様です。

二十歳を迎えた皆さん、本当におめでとうございませう。失敗を恐れてトライしない事こそが失敗です。失敗をたくさんする事が限界を見極める事、より大きな成功に結びつける最短の道です。若さこそ最大の武器、後悔する事のないよう夢を追いかけてもらいたいと願っています。

(1月12日執筆)

フォトベっぷ



別府の冬の夜空彩る—12月23、24日、スパビーチ・的ヶ浜公園などで30回目の節目を迎える「べっぷクリスマスファンタジア2023」が開催されました。花火は2日間で約1万2千発打ち上げられ、来場者からは大きな歓声が上がりました。



▶ **どもまんなか社会の実現に向け**—12月27日、別府市と一般社団法人Data for Social Transformationとの包括連携協定締結式
▶ 人Data for Social Transformationが包括連携協定を締結しました。子どもに対する様々な課題に対して、データを活用した科学的な効果検証を行うことにより、健やかな成長に寄与することを目的としています。



人生の新たな一歩を—1月7日、ピーコンプラザで「別府市二十歳のつどい」を開催しました。式典では、二十歳代表として林実桜さんが誓いの言葉を述べました。会場は、友人との再会を楽しむ顔と二十歳としての決意の顔であふれていました。



飛躍の一年を願う—1月9日、ピーコンプラザで新年祝賀互礼会を行いました。参加者全員で令和6年能登半島地震で亡くなった人へ黙とうを捧げた後、「今年は市制施行100周年という歴史的な節目の年、市民総参加で歴史的な1年にしましょう」と市長が年頭のあいさつを述べました。